

MORIOKA YMCA NEWS

盛岡YMCAの使命

私たち、盛岡YMCAは、イエス・キリストによって示された生き方に学びつつ、豊かな自然と歴史的伝統に満ちた岩手の地で、こども、家族、地域とともに公正で平和な世界の実現を目指します。

1. こどもたちの個性を大切に、それぞれの夢や希望、生きる力を育みます。
2. 家族の絆といのちの大切さを深め合います。
3. 共に生きるために、異なった文化、多様な価値観と出会う場を提供します。

10・11月号 特集：国際協力募金キック・オフ



編集発行人：濱塚有史 発行所：特定非営利活動法人 盛岡YMCA 岩手県盛岡市本町通3-1-1
TEL 019(623)1575 e-mail: morioka@ymcajapan.org URL: <http://www.ymcajapan.org/morioka/>

YMCAも僕

竹内一寛 (盛岡YMCA総務委員会 リーダー)

今僕は大学で先生になろうとする大学生に向かって教育心理学を教えています(不思議なもので僕が大学で教えている20歳前後の学生は僕が10年前にリーダーとして関わっていたころの子どもなんですよね)。教育心理学の知識を伝えるのはもちろんですが、僕が学生に伝えたいことは次のようなものです。人には短所も長所もある。短所を挙げればきりが無い。だから最初に、長所を見つけて欲しい。次にその子の良くないところを見つけてあげて欲しい。そして、最後にその二つは切り離せないということに気づいて欲しい、と。その二つ揃ってその子なんだと。その子の丸ごとを受け入れて、そして、語りかけてほしいと。このように僕が大学生に伝えるにはYMCAでの経験があるからなのでしょう。

僕が当時リーダーとして関わることができたのは基本的に子供がサッカーの時に来ていた週に一度。アドベンチャーであれば、月一度です。そのわずかな時間に僕に何ができるのか。その子供に対して何を伝えることができるのか。生きる知恵?サッカーのテクニック?野外活動のノ

ウハウ?あるいは、協力する心?思いやり?どれも正しい気がするけど、どれも違う気がする。というか、僕にそんなことができるのか。僕はそんな立派なことが言えるような人なんだろうか。子どもの前に出て、うまく話しかけられない。上手にまとめあげられない。そんな僕にそんな大層なことを伝えられるのか?色々と考え、思い悩みました。アメリカのYMCAに行ったり、横浜のYMCAに行ったり、仙台のYMCAに行ったりといろいろあがきました。最終的に僕ができることは目の前にいる子どもを誰よりも受け止めてあげることなんだろうと感じ、今に至ります。

YMCAにはいろんなリーダー、いろんな子供、いろんなスタッフがいます。人がたくさん集まれば、扱いやすい人もいれば、扱いにくい人もいるでしょう。でも、その人の属性や性格に関係なく、いつまでも分け隔てなく、いろんな子供、いろんなリーダーを受け入れ、そして育ててほしいと切に望んでいます。そしていつもこう発してほしいのです。君でいいんだよ、と。

かけがえのない いのちと平和

YMCA国際協力募金 キックオフ 募集期間 11月1日～3月31日

今年もYMCA国際協力募金が11月1日より開始されます。YMCA国際協力募金は、すべての人びとが、国・民族・宗教の違いを認め合い、平和にいきいきと暮らすことが出来る社会を作り出すための国際協力・地域奉仕活動に用いられます。

2009年度全国のYMCAに寄せられた国際協力募金は、56,907,960円になりました。盛岡YMCAでは、募金、街頭募金、チャリティコンサート、チャリティフットサル大会などを通して225,825円を タイ北部にある人身売買から子どもたちを守るシェルター、YMCAパヤオセンター並びにバンコク近郊にあるエイズ孤児ケアセンター、YMCAハッピーホームに通う子供たちを支援する活動「プロテクト・ア・チャイルド」に送金しました。



ハッピーホームの子どもたち

★募金受付中

★チャリティコンサート11月21日(日) 盛岡劇場タウンホール会場ボランティア募集中

★街頭募金 11月23日(祝)ボランティア募集中

リーダー紹介

岩ちゃんリーダー (能登谷昂毅さん)
T2リーダー (夏坂俊也さん)



こんにはじめまして！僕T2から、岩ちゃんについて、ずつしりどつしりお話しします♪岩ちゃんは、青森県の六ヶ所村出身です。六ヶ所村といえば、原発があることで知られていますね。YMCAでも一部で岩ちゃんを「原発くん」と呼ぶ声が…。そんな原発くん、いやいや、岩ちゃんは、今年の春から僕と一緒にプライムで活動しています。岩ちゃんは自分の腕力にとても自信があるので、腕相撲をするのが大好きです。ぜひみんなも岩ちゃんに勝負を挑んでみて下さい！もちろん腕を多少痛める覚悟で！笑 僕は岩ちゃんのように力に自信があるわけではないので、力持ちの彼だからこそできることがたくさんあって、すごくうらやましいし、また見習っていききたいと思っています。ここだけの話、岩ちゃんは甘えん坊で、ややMなので、こちよがされるのも、嫌がっているようにみえて、実は喜んでいられるんですよ★みんなでもっとも岩ちゃんを喜ばせてあげましょう！岩ちゃんはリーダーの中でもまれにみるほどまじめな男です。そんな彼から僕自身学べることもたくさんあります。何事も全力で一生懸命な岩ちゃんと一緒にたくさん楽しんで、たくさんケンカして、たくさん悩んで、これからも活動していききたいと思います！岩ちゃんは最近プライムだけでなく、アドベンチャーやサッカースクールにも参加しています！みんなも大きな体に、優しい心の岩ちゃんに会いに来て下さい！



今回は、自分T2リーダーについて紹介していきます。T2リーダーは、青森県で生まれ小学生の時に岩手にやってきたリーダーです。現在は盛岡大学の1年生で、一生懸命に頑張っています。T2のリーダー名の由来ですが、もともと自分とT2は本名のイニシャルが一緒で、初めてYMCAを訪れた日も一緒だったということもあり当初自分は「T2」とコンビのような形でした。自分のリーダー名は変わりましたが、T2のコンビの名はそのままだ根強く残っています。T2リーダーは小学校のときにはサッカーをやっていました。中学校ではハンドボール、高校では演劇と、多くの事に興味を持ち現在は大学の演劇サークルでも活動しています。持ち前の感性やセンスを生かしてよりよいものを作り上げようとする力は素晴らしいものがあります。

T2リーダーは、ぶらいむでよく活動をしています。手先が器用でレゴブロックや、折り紙などを作ったりカードゲームをしたりするのが得意です。レゴブロックでは、独自の発想を形にできるのでもっとも子どもたちの注目の的。折り紙もおりかたの本さえあればどんな難しいものだって作ることが出来ます。そんな、子どもたちが喜ぶことを一番に考えることができ、一緒に遊ぶことが大好きなT2リーダーのように自分も負けないよう思いっきり子どもたちと遊びつくそうと思っています。T2リーダー

★T2リーダー★

やんくみリーダーの本箱 ②

霧のむこうのふしぎな町 (新装版)

柏葉幸子/著 杉田比呂美/イラスト
講談社青い鳥文庫



この霧を抜けた先に不思議な町が待っていたら・・・そう考えるとなんだかワクワクしませんか？このお話は、ごくごく普通の小学生リナの夏の不思議な体験の物語です。お父さんの勧めで行った先の町で、リナがピエロの柄のついた傘を追って霧の中を抜けた先には「気ちがい通り」という不思議な町がありました。下宿先のピコットばあさん曰く、「働かざるもの食うべからず」。仕方なく「気ちがい通り」の住人たちの手伝いを始めたリナでしたが・・・ファンタジーの王道のような内容ですが、「気ちがい通り」の住人たちがもうびっくりするくらい個性的で何度読んでも面白い作品です。私はこのお話と出会って以来、霧が出るとわけもなくワクワクするようになったほどです。個人的には昔の挿絵の方が作品にあって好きだったので、現在書店で購入できるものは「大人の事情により」違う絵柄になっています。残念。どうか中古で購入できないかと目下思案中のやんくみでした。

岩手県立大学社会福祉学部3年
千葉由貴恵 (やんくみリーダー)



社会人になった

シロクマリーダーの料理教室①

家村知佳



突然ですが、新企画!!! シロクマの栄養教室から一新、シロクマの料理教室スタートです♪最近、朝晩の気温がズドーンと下がり、思わず「寒いっ!」と口にしてしまうようになりましたね。夏は「暑い、暑い」と嘆いていたのに...

さて、記念すべき初回のメニューは『豚汁』です。基本的には好みの野菜を入れていただければよいのですが、今回は体の温まる食材をふんだんに使った豚汁のご紹介です。

【材料】(2人分)

豚肉60g、ごぼう50g、にんじん50g、大根50g、きのこ類(シイタケやシメジ等)50g、ごま油 大さじ1/2、だし汁 1と1/2カップ、味噌 大さじ1と1/3、長ネギ 適量、しょうが 少量、七味唐辛子 お好みで

【作り方】

豚肉はひと口大、ごぼうはささがき、にんじん・大根・きのこは食べやすいように切ります。長ネギは小口切り、しょうがは千切りにしておきます。熱した鍋にごま油を入れ、中火で豚肉を1~2分炒めます。長ネギと根ショウガ以外の野菜を入れてさらに1~2分炒めます。だし汁を加え、煮立ったら弱火にして7~8分煮ます。味噌を溶かし入れて長ネギを散らし、火を止めます。盛り付けのときにしょうがと七味唐辛子をお好みで!

根菜類・ネギ・しょうが・唐辛子・味噌は体を温める食材です。他の料理にもたくさん使ってください。寒い日も胃袋から温まりましょ!!

アドベンチャー10月活動



さあ、出発だあ！



うーん、ポイントはどこだ？



おまえがタマだったのか！



ほっか、ほっかのお芋♪

10月24日（日）外山森林公園でアドベンチャー10月活動が行われました。今回のテーマは、お芋探偵団（お芋を探せ！）当日は、23名の子どもたちと13名のボランティアリーダーが参加しました。

お芋農家のサザエさん一家が行方不明になり、サザエさん一家を見つけなければお芋を食べれないという設定です。子どもたちは地図をみながらみんなで協力しあい、紅葉の中、チェックポイントのお題をクリアしていきました。

最終的には、一緒にお芋を探していたリーダーたちが記憶喪失になっていたサザエさん一家だったという落ちでしたが、とにかくサザエさん一家が見つかってめでたし、めでたし。子どもたちは、焼きたてのホカホカのお芋をほおぼっていました。

サンティスクール10月活動

10月3日おでつての生活アトリエでサンティスクールが行われました。メンバーは子どもが3人リーダーが8人の全員で11人です。

今回は「秋をとどけよう はがき大作戦！」ということで、はがきを自分たちで作りました。はがきの作り方はとっても簡単☆ペットボトルにティッシュペーパーとトイレットペーパー、水を入れて振ると紙がドロドロになります。これをはがきの形をした枠に入れて乾かすとできあがりです♪ティッシュと一緒に色紙や絵の具を入れると色つきのはがきを作ることができます。ビーズやラメを入れてきれいなはがきを作っている子もいれば、いろんな色をごちゃまぜにして遊んでいる子もいました。また、はがきの枠をダンボールで作ると四角だけでなく好きな形にすることができます。みんなはがき作りに熱中していましたが、夢中になりながらも話し声や笑い声は途切れることなく聞こえていました。心をこめて作ったはがき、みんなは誰に出したのでしょうか？

次回もみんなと元気いっぱい遊ぶことを楽しみにしています
(^U^)/ 岩手県立大学 社会福祉学部4年
佐藤愛美（ビーチ）



全国YMCAニュース [THE YMCA10月号より]

YMCA運動が導く連帯と変革に期待

バンキマン

国連事務総長 潘基文

—第17回世界YMCA大会に寄せて

YMCAの世界的な取り組みである平和の創造、公正な社会の実現のために、人種や階級、宗教、ジェンダーの違いを超えて世界中から集まれた皆様にご挨拶申し上げます。HIV/AIDS、気候変動、女性や子どもが直面している問題などについての議論やワークショップを通して、新たな変革が導き出されるものと期待しています。政府が財政危機に直面し、多くの基本的な社会サービスを提供できていない今日、地域社会を強める皆様の働き、若い人びとや、貧困のなかにおいて十分なサービスを受けられない地域の人びとへのYMCA取り組みは、かけがえのないものです。

私はまた、国際的な人道支援の取り組みについて、特に1月の大地震で被災したハイチの人々へのYMCAの関わりを、心から賞賛します。YMCA運動の世界規模の「連帯」というとてつもなく大きな波と、復興支援への迅速でタイムリーな働きに敬意を表します。

今回の世界YMCA大会のテーマ「いま、地球市民として生きるために」は、国連が実行可能な行動計画の採択を望んでいる、9月開催の「ミレニアム開発目標（MDGs）*達成のためのサミット」にも、示唆とメッセージを送るものです。私はミレニアム開発目標（MDGs）達成のためのプログラムや政策提言に取り組んでいる多くのYMCAに感謝申し上げます。達成期限まであと5年、皆様の継続的なサポートが極めて重要です。

また、国連では、8月12日に始まる「国際青少年年」において、YMCAは特筆に値する団体の一つであると認識しています。願いは「対話と相互理解」であり、世代や文化を超えた情報や意見の交換の活性化を目的としています。特に社会の不正を正そうとする働きに若者を巻き込み、それを注視していくことを、政府や市民団体に呼びかけています。

将来に向けて、YMCAは世界中の若者から沸きあがるエネルギーと理想を、これからも追求し続けるでしょう。最後にもう一度、国連の理念と目的へのみなさんの献身に、心から感謝します。（抜粋翻訳・文責編集部）



世界に連なるYMCA運動



7月17日から25日、85カ国から1.134人が香港に集い、「いま地球市民として生きるために」をテーマに第

17回世界YMCA大会およびユースフォーラムが行われました。

大会では、「YMCAは、世界中に広がるネットワークとリソースを効果的に使い、国や地域において社会的にインパクトのある働きにもっと積極的にチャレンジしていくこと。」「世界のYMCA運動を二国間などの個別の協力関係から脱却し、多国間の対等な協力関係を創り出し、世界で起きて課題により柔軟に機動力をもって取り組んでいくこと」が確認されました。

11月の予定

★11月3日(祝)

サンディスクール
昔の遊びを体験しよう！

★11月13日(土)

ワイズメンズクラブ第1例会
(於 JARAN JARN)

★11月7日(日)

ミニサッカー大会
(於 仁王小学校)

★11月19日(金)

ワイズメンズクラブ第2例会
(於 アイーナ団体活動室)

★11月21日(日)

インターナショナル・ミュージック
フェスティバル

(於 盛岡劇場タウンホール)

★11月23日(祝)

街頭募金

★11月27日(土)

午前10:00～11:30
冬季キャンプ説明会

(於 アイーナ団体活動室②)

★11月28日(日)

アドベンチャークラブ11月活動

「ミステリーバスツアー」

★11月28日(日)

学童保育「ぷらいむ・たいむ
む新年度説明会」

午前10:00～11:30

(於 盛岡YMCA)



★維持会員★

盛岡YMCAは、1983年から活動を始め世界を見つめながら盛岡の地域に根ざした活動を多くの方々から支えられながら続けてきました。
維持会員とは、盛岡YMCAの使命に賛同し盛岡YMCAの活動を支えるため、維持会費を払って会員となった方々です。

◆盛岡YMCAの維持会員としてYMCAの諸活動をお支え下さい。申し込み方法は、YMCAにお問い合わせ下さい。

前谷洋子、池田二郎
熊谷太、水田賢次、長谷川精一、伊藤克見、伊藤喜代江、布川雅樹、布川直子、神永暁、及川茂夫、及川恵、川守田浩、工藤直子、清水弘一、吉崎陽、今松桂子、杉下一郎、井上修三、阿部靖、今野聖子、中原眞澄、角谷晋次、佐藤翔、伊藤眞一郎、伊藤みどり、越前谷洋子、池田二郎

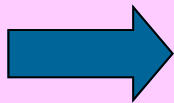
●寄付金

彦、越前谷洋子、池田二郎
2010年度
感謝
順不同・敬称略
●維持会員
菊池崇江、熊谷太、鶴丹谷三千代、水田賢次、新里ちえ子、金田一世美子、重石桂司、大関靖二、長谷川精一、北田アユ子、田村治之、伊藤克見、伊藤喜代江、濱塚秋二、濱塚れい子、布川雅樹、布川直子、神永暁、小畑孝子、松尾聡子、及川茂夫、及川恵、川守田浩、晴山真理子、工藤直子、竹内一真、清水弘一、吉崎陽、千葉代子、今松桂子、金野東輝子、井上修三、井上優子、井上浩太郎、阿部靖、今野聖子、今野健男、金田節子、中原眞澄、古澤伸、角谷晋次、角谷千代子、佐藤翔、伊藤眞一郎、伊藤みどり、長岡正彦、越前谷洋子、池田二郎

新連載

あの頃君は～♪若かった～♪②

サルの巻



こんにちは。盛岡YMCAスタッフ小川嘉文(さる)です。

私は、1982年10月3日、山形県東根市に姉2人の末っ子長男として生まれました。

小学校時代の私は、先月紹介のあった伊藤(ひげたまご)と同じで、落ち着きがなく、じっとしていられず、学校でも怒られる事がしばしば。集会中のおしゃべりや友達をよく泣かせ、先生方のお手を煩わせました。また、人が恥ずかしがって出来ないということをやるのが好きだった様で、小学生が恥ずかしがる様な事を『はずかしくないじゃん!』とずけずけとやり、色んな方に迷惑をかけていました。今もあまり変わりませんが・・・。

そんな私の当時の楽しみは、学校の帰り道。家までは色々なルートがあるのですが、その帰り道を、友達と様々なシュミレーションをしながら帰るのが日課でした。つまりは寄り道ですね。違う道でも同じ道でも、いつも違った発見が出来るのが本当に楽しかったです。途中ゲットした戦利品は、いつの間にか母親に捨てられるのが定番でした。

今、私はYMCAのスタッフとして様々な活動に参加しています。いつも参加している活動、たまに参加する活動等、様々な活動がありますが、どちらもいつも沢山の発見があります。同じメンバーと共に過ごす中でもいつも違った発見があります。だから、皆と何かするのって楽しいなって私は思っています。これからも沢山の発見をし続けていきます。

「自分が好き...?」

中原眞澄(日本キリスト教団内丸教会牧師)

キリスト教は「愛の宗教」と言われます。だから、自分を犠牲にしても人を愛するように・・・と教える宗教と思うかも知れませんが、間違いないとは言えませんが、誤解もあるようです。というのは、「隣人を愛しなさい。」と教えたイエスの言葉には「自分を愛するように」と付いているからです。自分を愛せる人だけがほかの人も愛せる・・・そのことをイエスはよ～く知っておられたのです。

日本の青少年を外国と比較する調査は、学力を始め、いろいろ行われています。でも、学力より遙かに問題の深い調査があります。子どもが自分をどう評価しているか・・・という調査です。様々な国と何回か比較した調査がありますが、どれをとっても、日本の子ども達の自己評価は遙かに低いのです。これは大きな問題だと思いませんか? どうせ自分はこの程度・・・と育て育った人は、本当に自分を好きに＝愛せるようになれません。家庭や学校での育て方も大きく影響しているでしょう。ちょっとしたことも褒める、失敗より挑戦したことを褒める・・・そんな「甘やかす」態度が、最近の大人達から見られなくなったのではないのでしょうか。(別の「甘やかす」＝善悪を躰けずに放任＝はよく見受けるのです。)

YMCAは子どもを減点法では見ない所です。僅かな点にも目を留め、褒めてホメて賞めまくりです。子どもも友だち同士でホメ合う・・・そんな事から自信をもち、自分を好きになれた子は、他の人の良さも認め、愛することが出来るようになります。

YMCAがキリスト教の団体である・・・それは、何か特別の行事や言葉にあるのではなく、神様はあなたを愛してるよ、だから自信をもって、自分を大好きになってイイんだよ・・・そのことを自然と伝えていく・・・という普段の活動そのものの中に、先ず、あるのです。

「わたしたちが愛するのは、神がまずわたしたちを愛してくださいからです」(ヨハネの手紙一 4章19節)

表紙の写真から

10月25日、YMCAの学童クラブ「ぷらいむ・たいむ」と英会話教室合同でのハロウィンパーティが行われました。



家で準備したり、学童にいる間、パーティに向けて準備したりとそれぞれが自前の衣装を持ち寄って当日はその衣装に大変身!。英会話教室講師のシンディさんが進めるゲームでパーティは大盛り上がりでした。最後には沢山のお菓子がゲットし、心もお腹もたっぷり満たされた時間となりました。(小川)